



Text by Nikki Yamaguchi and Takaji Ochi Model Nikki Yamaguchi Photo Takaji Ochi Special Thanks Yap Rize Diving Center Design Risa

いつの頃からか、ヤップライズダイビングセンターの壁という壁に、奇妙な絵が描かれるようになっていた。最初の素朴な印象から一転。その絵たちは、下手とか上手いとかを乗り越えて、強烈な個性を放って、そこに存在している。そして、訪れる度に、絵は増殖し続けている。多分、それを面白いと感じる人もいれば、違和感を感じる人もいるに違いない。僕は、この場所を訪れる度に、この増殖の様子を楽しんでいる。そして、その増殖の張本人である、山口日記がハマったヤップのワチュラブ村という場所(宇宙)と、それを取り巻く海に、普通のダイビングディステーションとは違う、興味を覚える。ここに来ると、普通に魚を見たり、地形を楽しんだりするダイビングって、違うような気がしてくる。「超感覚的潜水趣味」。見るもの全てが楽しい。何も出なくても楽しい。そんな気分させてくれるのは、ワチュラブ村という宇宙のせい? 今回の特集は、通常のダイビング雑誌などでは、多分特集されることのない、異質な内容。ヤップライズダイビングセンターの壁に増殖を続ける絵画同様、面白いと感じる人もいれば、違和感を感じる人もいるに違いない。だから、「Another side of Yap」。タレントであり、ヤップの海にはまり、芸術家(?)として、ここで創作活動を続ける山口日記が感じるヤップの魅力や、彼女の思うがままに表現してもらった結果がここにある。



Another Side of Yap

山口日記がハマったヤップという島と海

Web-lue 2008. Spring



山口日記インプレッション

おかしいなぁ～ 何度行っても、違う場所に感じる
同じ場所なのに、同じ空気なのに、違う所に来たような新鮮さがある 太陽も、ココナツの木も、マンタも、当たり前だけどみんな生きていて成長しているのを感じる
フシギだなぁ～

小さい小さい村の周りを大きな宇宙が囲んでいるみたい
なんだか、宇宙人がいるような気がしてならない
テレパシーが使えるような気がしてならない
ヤップの小さい島にもしかしたら、沢山の宇宙人が住んでいるのかもしれない
だから、私はいつもネル前、歯を磨きながら満天の星空に向かってテレパシーを送ってみたりしている だから、私はいつもダイビング中、マンタと会話しながら綺麗な海の底に向かってテレパシーを送ってみたりしている

馬鹿みたいだけど、本当にそれが通じてしまうような不思議な場所なんだよなぁ

何も考えずに遊べる
何も考えずに海に潜る
何も考えずに絵を描く
こういうのも大事だね って思わせてくれるYAP
私にとって必要な場所

そんな不思議な世界の海に潜って泳ぎまくるのが好き
ゴールが無い世界
ヤップの海と一緒に遊んでくれる
海を肌で感じたら100%とろけちゃう
ヤップの海に心まるごと奪われた
やられた～ 自然の力って偉大だな
だからYAP好きなんだよなぁ

Another Side of Yap

山口日記がハマったヤップという島と海

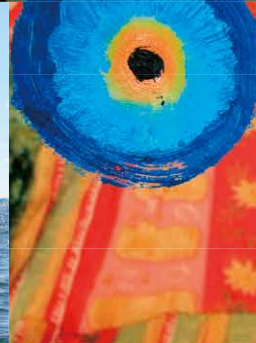
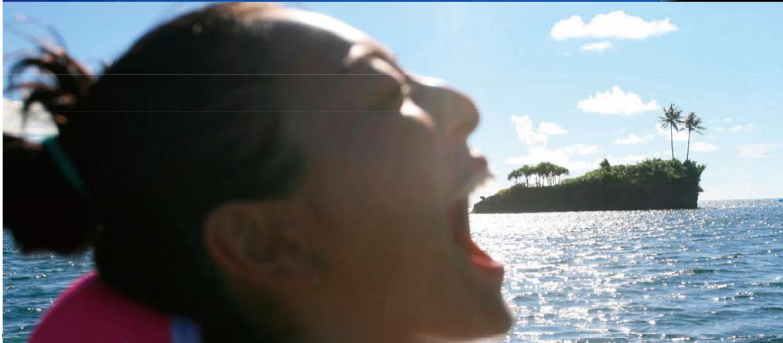
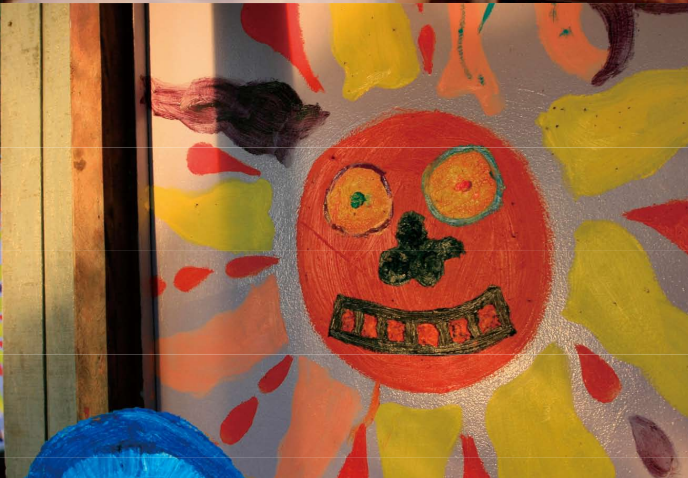
Web-lue 2008. Spring

Information Link  <http://www.rizedivingcenter.com> 関連情報HPへ

Profile

山口日記

タレント。「夢のとびら」や「世界不思議発見」など、世界を飛び回るリポーター的仕事を好む。独特で不思議な世界観を持つ彼女が創作する絵画は、見る人を惹きつけるか、嫌悪感を感じさせるかどちらか。ヤップライズダイビングセンターの2階に自らのアトリエを持つ。ヤップでのダイビング本数は約300本。一応ダイブマスター。



Another Side of Yap

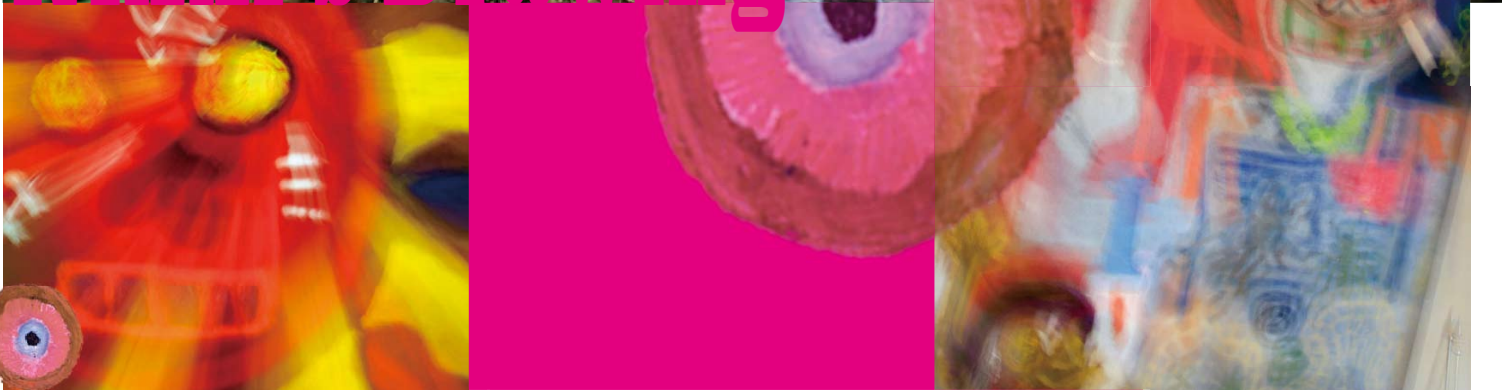
山口日記がハマったヤップという島と海

Web-lue 2008. Spring

Information Link <http://www.rizedivingcenter.com>



Nikki's Drawing



Another Side of Yap

山口日記がハマったヤップという島と海

Web-lue 2008. Spring

Information Link <http://www.rizedivingcenter.com>

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



キャプションがはいりますだミーキャプションがはいりますキャプションがはいりますここには、キャプションがはいります

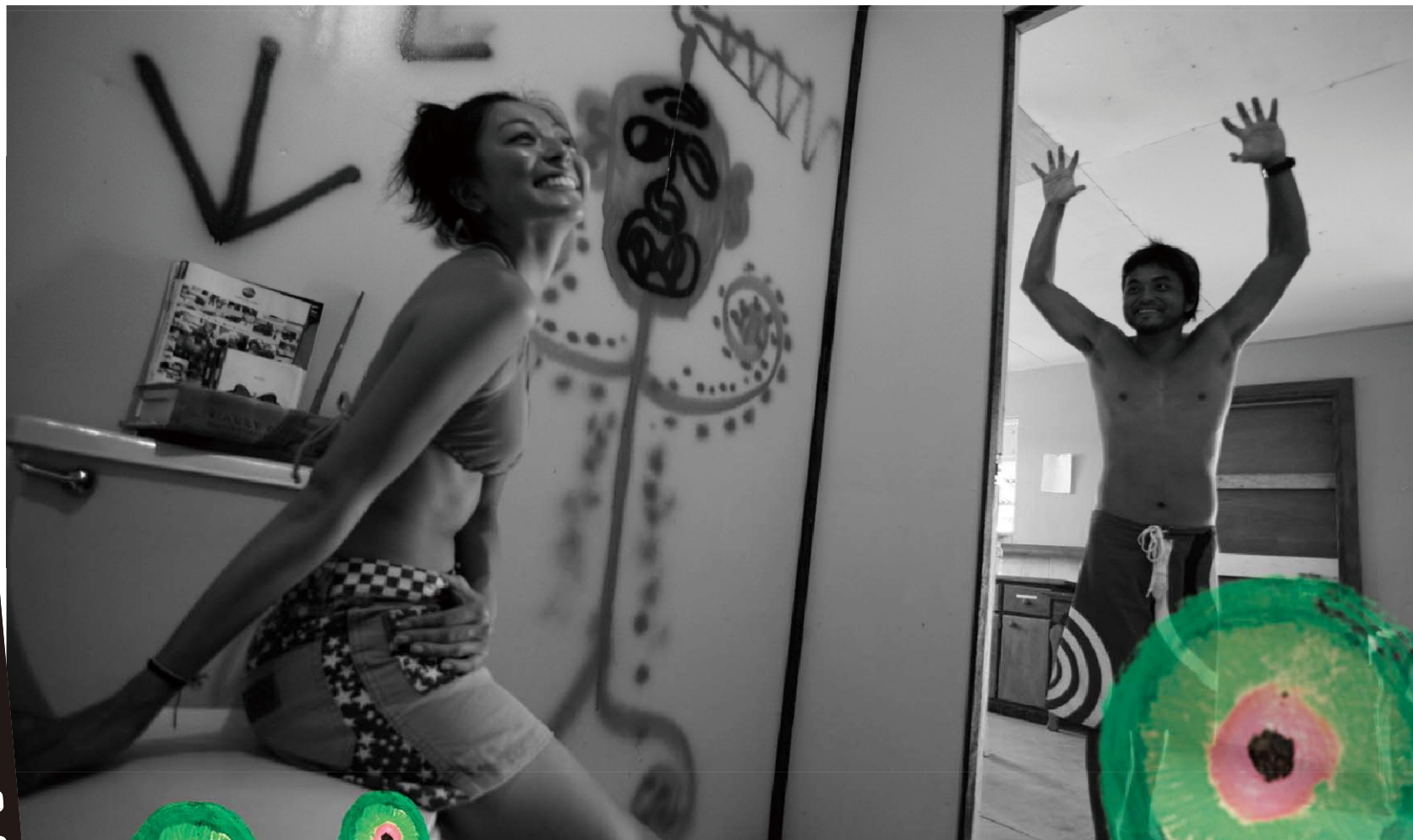
Another Side of Yap

山口日記がハマったヤップという島と海

Web-lue 2008. Spring

 Information Link <http://www.rizedivingcenter.com> 関連情報HPへ

©WEB-LUE ウエブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます



ワチュラブ村……、そこは

毎

回、家族をともなって、ここに来る。
ヤップの空港に着いて、ワチュラブ村に向かう車中で4歳になる息子が、こうつぶやいた。「ねえ、ヤップまだ？」
そう、彼にとって、ヤップ = ワチュラブ村。
僕にとっては、「今日は潜れなくてもいいや」と思える場所。海風を感じていれば、それだけで満足できる場所。何もしないでぼ～っとしててもあつという間に1日が過ぎてしまう場所。そう感じる人たちが、どんどん増えていくに違いない場所。ダイビングサービスとしては、それはちょっと困る

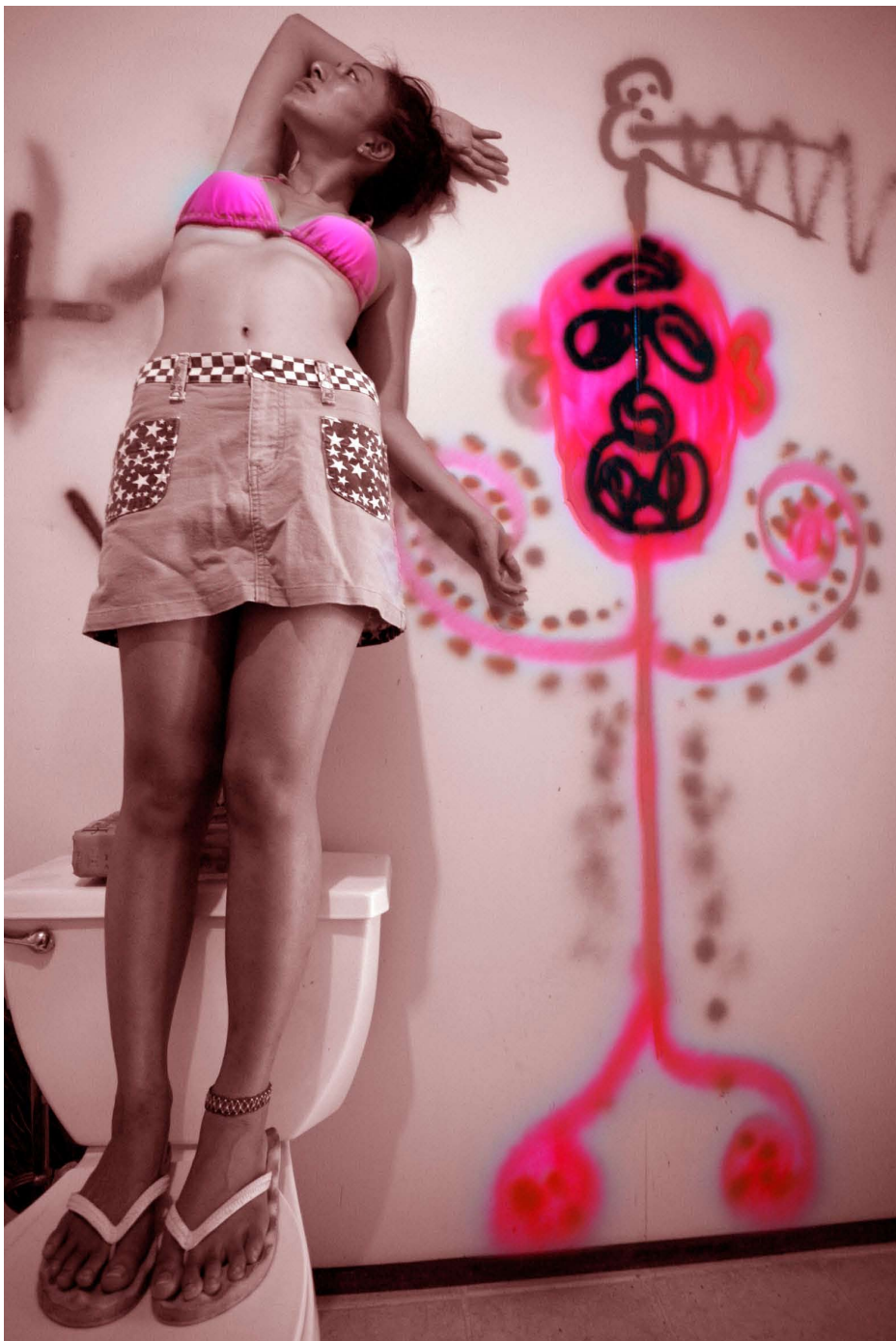
んだけど、オーナーは「困った」とかつぶやきながら、まったく困った風でも無いから、またそんな人たちが増殖していきんだよね。それでいいのか？って思うけど、でもきっとそれでいいんだよね。もっともっと面白い人間が集まれば、このミクロネシアの小さな島の小さな村から、新しい文化が生まれる。そんな気分になってくる。そこには、新しいダイビングスタイルも含まれているかもしれない。
それは、便利さを追求する文化ではなくて、心の文化。だから、「ヤップ行こうぜ」。

Another Side of Yap

山口日記がハマったヤップという島と海

Web-lue 2008. Spring

Information Link <http://www.rizedivingcenter.com> 関連情報HPへ



Another Side of Yap

山口日記がハマったヤップという島と海

Web-lue 2008. Spring

Information Link <http://www.rizedivingcenter.com> 関連情報HPへ

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます